

尾
長
会
報

ともしび

地域で作る福祉の町

発行・文責 地区社協広報部

町内会加入世帯数 4,793 世帯



「エキキタおながフェスタ2021」開催のお礼

「エキキタおながフェスタ2021」開催につきましては、新型コロナウイルス感染が心配される中、従来の飲食を伴う大人向けの集客を抑え、子ども向けの企画を中心として開催することとなり、連合町内会も共催で参加いたしました。

フェスタは、7月24日・25日の両日、エキキターレを会場に開催されました。

連合町内会は、7月24日（土）の「盆踊り大会」を担当いたしました。尾長学区女性会の皆さんには美しく、すがすがしい浴衣姿で参加していただき、きびきびとした踊りを見せていただきました。盆踊りには、子ども連れの家族も多数ご参加いただき、70人近い方が二重の輪になって踊っていただくなど、笑顔の絶えない、楽しい時間を過ごしていただきました。

地域の皆さんやご協賛いただいた各企業の方々のお陰で、コロナや熱中症にかかる人もなく、無事に事故なく終わることができました。ありがとうございました。

また、開催に関わっていただいた皆さんにお礼申し上げます。

尾長地区連合町内会会長 原田幹太



盆 踊 り

女性会の皆さん
お疲れ様でした！



山根町西部町内会防災勉強会



防災士：内藤さん

7月24日、町内会定例会に防災士の内藤さん（光が丘町内会副会長）をお招きして、防災についての勉強会を開催しました。毎年、大雨により避難指示が出

る度に、町民の方々にどうやってスムーズに連絡し、避難していただくかが課題になっており、集会所には役員、ブロック長、組長21名が集まりました。光が丘町内会さんでは、独自の防災マニュアルを作られており、急傾斜地の多い地形や高齢者が多いこと等共通点の多い私たちは、真剣に話を聞きました。



中でも、我が家の避難計画「マイ・タイムライン」には、時系列に町内会と家族の行動が示されていたり、最終的に避難場所に決めた場所の記入箇所があったりと、実情に合わせた内容になっており、大変参考になりました。また、「行政だけでは任せられない、自助、共助、公助の気持ちで町内会の一人ひとりが自分たちの町を知り、日頃からの防災対策が必要だ」という言葉が、まさに今の私たちに必要な事だと痛感しました。これから、昨年作成した防災マップを生かし、町内会独自の防災対策の在り方についても検討していく必要があると思いました。また、山根町西部町内会にはまだ防災士がいない為、講習会参加に広く町民の方々に声をかけ、防災士誕生を目指したいと思います。

また、同じ山で繋がっている両町内会は、避難指示が出た時の連絡網の在り方、避難方法など抱える問題点も似ていることがわかり

、今後はお互いの町内会の連携などにも発展していけたらと思っています。

最後に、お忙しい中、勉強会を快く引き受けてくださった内藤さん、本当にありがとうございました。

山根町西部町内会 副会長 菊池裕美

豪雨による緊急避難の警告がありました。

自分の命は自分で守る！

皆さんも安全第一の行動を心掛けましょう。



尾長小学校に避難された方

7月8日（木） 8名

7月9日（金） 9名



「高齢者等安心見守りネットワーク」情報

～高齢者見守りネットワーク委員会報告～

コロナ禍で色々な活動が中止延期になり、一年半が経ちました。おさまりかけた新規感染者数が今もまた増加しています。

7月29日、高齢者見守りネットワーク会議を再開させましたが、まだまだ地域の見守り（高齢者見守りネットワーク）やボランティアバンク（困りごと相談）などの活動は不要不急には当たらず、ほぼ休止となっているのが現状です。会議ではコロナ禍での事例を検証し、まとめてみました。

- ①高齢者へのさりげない見守りは継続するも、訪問までは難しい。
- ②感染防止の為の外出自粛（イベントや研修会、サロンなどの中止。）
- ③ワクチン接種の接種券説明や予約の仕方等困っている。

高齢者は、外出自粛が長くなると体力が落ちたり、人と話さないことや引きこもり状態になった結果、うつ病や認知症が進んだりなど問題は多く出てきています。

そんな中でも「コロナ禍で子ども達と同居する事になりました。」と話してくれた高齢者の方の嬉しそうな報告は明るい話題でした。こんな時だからこそ地域の繋がりが大切になります。優しい見守りをしていきましょう！

尾長地区社会福祉協議会会長 石田三枝子